



日比野愛子
准教授

て？」は探究心の小さな小さな芽のようなもの。それを大切にしてほしいという願いと共に始まるのがこの新連載です。毎回、弘前大学の先生たちが皆さんと同じような「なして？」

日常あるある！がいつばい。私たちの暮らしに身近な社会心理学。皆さんは、「社会心理学」と聞くと、どんなイメージを思い浮かべますか？なんだか難しくして自分とは関係なさそう……。そんなふう

らす、その背後にあるものを研究する分野。実は私たちの日常と深く関わっているのです。たとえば、まわりの意見や行動に合わせて自分も同じように行動してしまおう「同調行動」、美人やイケメン

よって全体を高評価してしまう「ハロー効果」。また、家庭ではとてもおしゃべりな人が、学校では無口になってしまったり、関わり合う集団や場所によって違った行動をとること

いいます。近年は、「培養肉」に関する社会心理学の研究」に取り組んでいます。SDGs（持続可能な開発目標）に注目が集まる中、今、世界では、牛などの細胞で作る「培養肉」の技術開発が進められていま

には、賛成の意見も反対の意見も出てきます。日比野先生は、培養肉研究に取り組んでいる東京大学や日清食品ホールディングス株式会社と共に、「培養肉に関する大規模意識調査」を行いました。

その結果、「培養肉を試しに食べてみたい」と考える回答者は3割弱でした。そして、培養肉に賛成する人は、細胞や人工知能など、私たちが普段生活で、私たちが普段生活で

理学的調査では、単に賛成・反対の数を数えるだけでなく、異なる意見を持つ人の背景に注目し、どうしたら課題解決につながるのかを探ります。そのために、社会心理学を学ぶことで人間関係だけでなく商品企画やマーケティング、組織運営などビジネスシーンにと面白いですよ。自分



異なる意見背景着目

探求心旺盛な、中高生の皆さんへ。中高生の皆さん、毎日の中で「なして？」と思うことはありますか？「なし

？」の気持ちで取り組んでいるユニークな研究を紹介。面白い題材やテーマが次々出てきますのでお楽しみに！

た。たとえば、まわりの意見や行動に合わせて自分も同じように行動してしまおう「同調行動」、美人やイケメン

は、「新しいテクノロジーが登場したときの人々の反応」について研究して

には、賛成の意見も反対の意見も出てきます。日比野先生は、培養肉研究に取り組んでいる東京大学や日清食品ホールディングス株式会社と共に、「培養肉に関する大規模意識調査」を行いました。

その結果、「培養肉を試しに食べてみたい」と考える回答者は3割弱でした。そして、培養肉に賛成する人は、細胞や人工知能など、私たちが普段生活で、私たちが普段生活で

理学的調査では、単に賛成・反対の数を数えるだけでなく、異なる意見を持つ人の背景に注目し、どうしたら課題解決につながるのかを探ります。そのために、社会心理学を学ぶことで人間関係だけでなく商品企画やマーケティング、組織運営などビジネスシーンにと面白いですよ。自分

最後に、日比野先生からのメッセージ。「身近な生活のなかで、何か引っかけた疑問に感じたことは社会心理学の重要なテーマ。どんな些細なことでも掘り下げてみると面白いですよ。自分



((2))



イラスト・弘前大学教育学部 ひつじ玲汰

と異なる意見を否定するのではなく、相手がなぜそう考えたのかバックグラウンドに着目してみてください」。

第2回の先生 日比野愛子 准教授 【人文社会科学部】社会心理学研究室 (担当：弘前大学研究・イノベーション推進機構)

■質問を大募集 ひろだい探偵団では今回の日比野先生の研究について、あなたが思う「なして？」を募集中！ 後日、紙面でお答えします。質問は左の二次元コードからどうぞ。次回は「箸の持ち方」のなしてを解明します。8月2日に掲載予定です。

※この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。 令和3年7月5日 陸奥新報掲載